

北九州テクノサポート通信

Kitakyushu Techno-Support

北部九州地域の産業発展に貢献する

NPO法人 北九州テクノサポート

〒804-0003北九州市戸畑区中原新町2番1号

TEL:093-873-1453 FAX:093-873-1453

E-Mail: info@npo-kts.org URL: http://www.npo-kts.org/

Vol.35

2020年 夏号



福岡と山口を結ぶ



NPO-KTS

NPO法人 北九州テクノサポート会長 総会挨拶

吉田 剛



本日はお忙しい中、コロナウイルスの影響で外出自粛が続くWeb会議の形でご出席いただきました正会員の皆様に心より感謝申し上げます。

本年は世界的なコロナ問題で経済活動も制約される未曾有の事態となり、緊急事態宣言は解除されたものの北九州は2次感染拡大の懸念が高まっており、それを前提とした行動が要請されております。

さて本総会ですが、お陰様でNPO法人北九州テクノサポート(KTS)として通算18回目の定期総会です。KTSはこれまで、先輩方の活躍で国や県、北九州市をはじめ関係機関のご支援を頂き、持続的な事業を進めてきておりますが、イベント開催の中止など事業活動に様々な制約を受け、厳しい運営状態にあります。昨年を振り返りますと、事業の柱の1つである環境省/エコアクション21(EA21)地域事務局は制度の変更をきっかけに存続を懸けた取組として、臨時総会にて山口県を中心に活動するNPO環境奇兵隊との合併の結果、新たに中核事務局「環境未来」として再出発することができました。それまでの250社から330社ほどの登録事業者に拡大し、北部九州や山口県の環境経営の指南役として活発な支援事業を進めています。(公財)北九州活性化協議会様からの「地元企業へのインターンシップコーディネート事業」、(公財)北九州観光コンベンション協会様よりの「出展企業と地元企業とのビジネスマッチング事業」、

また、KTS内の技術研鑽としての「勉強会」、「会員相互情報交換会」の実施や年2回の広報誌を発行しましたが、これらの活動は縦割りの活動で横繋がり弱い面があり、相互理解と協力関係構築をテーマに掲げております。理事と会員のコミュニケーションも課題です。なお、会員数の増強にも力を入れ直近では74名になっております。

さて、本年度は、次の5つのテーマを掲げ活動致します。

1. 個々の活動を相互連携しKTS全体としての成果を最大化するように活性化する。昨年引続き多様なKTSの活動の相互連携を図りながら支援内容の充実を図る。また、コロナの問題を乗り越える方策を充実させる。
2. KTS事業を支える会員の入会を昨年以上に促進し、企業支援体制強化を進める。
3. 会員の力を結集する定期的相互連絡会を開催し、会員の力を最大限引出す。
4. 広報誌やHPを充実させ活動状況を広く発信し、新しい支援の創出につなげる。
5. EA21事業は中核地域事務局として体質強化を一層進める。

令和2年の日本経済は先行きが不透明な状況もありますが、KTSは厳しいこのような社会情勢の変化の中にも、再生への手掛かりを見つけ、柔軟に対応できる組織として精進致します。

経済活動の制限は多方面に影響し、厳しい時期を迎えますが、KTSはこれからも地元のお困りごとに役立つNPO法人として精進を続けて参ります。

本総会では、活発なご議論をいただき、ご出席いただいた方々に意義ある場となりますよう宜しくお願い申し上げます。

(要約掲載)

Topics 1. 2020年度 北九州テクノサポート通常総会開催

2020年度総会(第18回通常総会)が開催された。今次総会は新型コロナ対策として御来賓参加等を仰がず、特別講演も割愛し、正会員のみのインターネット会議として運営された。具体的には予めeメールでの議決権行使、そして6月9日(火)のWeb会議(Skypeチャット会議)を行いテレワーク参加で実施された。開始に先立ち、小林事務局より定款に則った総会成立の報告がなされ、総会進行は議長(吉田会長)及び藤原副会長、影山副会長の補佐により行われ、会長挨拶並びに次の3議案(含む、収支決算及びその監査並びに収支予算案)の報告がなされ、会員のみの総会ならではの時間延長や各議案への活発な質疑があり、採択が行われ、各議案は了承された。

1) 第1号議案(2019年度事業報告他)

◇ 2019年度事業報告(事業総括) ◇

2019年度の暮までの日本経済は、改元やオリンピックによるプラス面も見られたものの、米中の経済摩擦と消費増税に伴う駆け込み需要の反動に加えて、自然災害の影響もあり、製造業では需要の鈍化といったマイナス面が見られた。年明け後に始まった新型コロナウイルス感染症の猛威により、日本でも緊急事態宣言が布告され、人の参集の規制が敷かれ、未曾有の経済活動の収縮を強いられる状況だけでなく環境をまたいだ企業のサプライチェーンが分断され、グローバル化の限界が指摘される事態になった。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、これまで九州経済を牽引してきた自動車やロボット産業および関連の素材産業、そして旅行・観光・サービス業にも需要の低迷と言う深刻な影響が出ている。国や自治体には、企業の倒産や廃業を防ぐため、資金繰り支援や雇用調整助成金の拡充、給付金の迅速な実行が求められている。

NPO法人北九州テクノサポート(KTS)の2019年度の活動を振り返ってみると、前年度から取組んだEA21地域事務局再編の流れの中で、山口県を中心に活動しているNPO法人環境奇兵隊との合併を臨時総会で審議を行い、承認され体制強化した。その結果、当事務局はEA21中央事務局より『中核事務局』に認定され、その名称も地域事務局「福岡」から「環境未来」と改名し、今後の支援拡大への基盤を構築した。この動きの中で、従来、個別活動を行ってきた他のグループ活動と連携強化の動きを進め、KTS全体の連携を強化する動きが生まれている。会員は多様なキャリアの集団であり、北九州力が強力に推進するSDGsの勉強会・会員相互情報交換会等で新技術の習得や相互理解を深めながら、地域産業の振興、活力あるまちづくりへの貢献を目指し、以下の活動を展開した。

▶(主な活動及び各支援G:活動報告は2ページ以降に掲載)

2) 第2号議案(2020年度事業計画他)

◇ 2020年度事業計画(基本方針) ◇

各種のレポートによると、コロナ危機の日本経済への影響により、企業業績の下方修正が相次いでいると報じている。個人の経済活動に大きな制約を課し、その影響は世界金融危機の際の経済停滞を上回る悪化が懸念される状況になりつつあり未だ先が見通せない状況となっている。

国は5月4日、緊急事態宣言の5月末までの延長を決めた。海外では移動制限を緩め出口を探る動きもあるが、経済は当面は以前の水準に届かず「水面下」の低空飛行が続く算が大きい。医療体制の整備などでウイルスへの耐性を高めつつ活力を取り戻す工夫が要る。ニューノーマル(新常态)への適応力をいち早く確立した国や企業こそがポストコロナの世界のけん引役になると考えられる。

KTSが受託事業としていた展示会のビジネスマッチング支援は、前半のインベション展の中止が決定した。インターンシップのコーディネート事業も学校が休校となっており、今後の動向では今年度の実施が危ぶまれる状況になっている。エコアクション21の地域事務局は、山口県を中心に活動するNPO法人環境奇兵隊と合併し中核事務局になり地域事務局「環境未来」として再出発したばかりであるが、各種の都合が延期を余儀なくされる事態となっている。活動も制約され理事もインターネット会議で対話を実施している。

KTSの活動は支援を必要とする企業(特にものづくり中小企業)の課題解決に協力して成長を応援し、地域の発展に貢献することを目指して来た。現下の窮状に対して会員の叡智を結集して企業支援の実務を進めて行きたい。更に、その豊富な経験・知識・人脈を持った人材を仲間に呼び込み、叡智を活かし地域の活動組織と連携や協業を進め、つなぎ役・実働部隊として地域産業の下支えできるように活動したい。

▶(実施計画は6ページに記載)

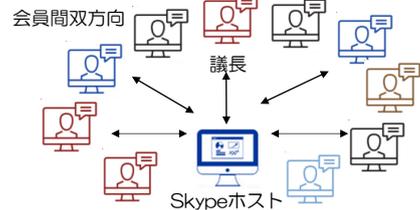
3) 第3号議案(役員改選)

◇ 役員改選 ◇

定款に則った任期満了に伴う役員改選を行い、理事候補15名(内、再任13名、新任2名)、監事候補2名(再任)並びに退任理事1名が紹介され、了承された。

*定員

	氏名(50音順)	
理事 *17	(再任) 石井 剛、影山隆雄、小林敏郎 佐藤 保、西 哲郎、林 慶三郎 藤崎正昭、藤原利久、松隈 齊 松本昭喜、古谷長蔵、吉田 剛 渡邊朝子	
	(新任) 坂田一則、徳永昌哉	
	(退任) 江副毅人	
	監事 *2	(再任) 石川 浩、重藤将美



インターネット会議 (Skypeチャット総会)

Topics 2. 北九州地域産業人材育成フォーラムからKTSへの期待

公益財団法人 北九州活性化協議会 専務理事 福本 司郎



福本専務理事

NPO法人北九州テクノサポートの皆様には、日頃から北九州地域産業人材育成フォーラムへのご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

令和元年度のフォーラムの活動は、「地域連携型インターンシップ事業」に重きを置き研修型(短期)および実践型(長期) インターンシップの推進を行ってきました。研修型(短期)は、受入れ可能な企業様および、実際に研修した学生ともに前年を超えた数となりました。その中でも、活動にご理解をいただき2年生の学生も参加ができています。実施後のアンケートでは、「学生を育てている」、「期間を延ばしてでも一緒に課題に取り組みたい」という前年には見られなかったスタンスさえ窺えます。実践型(長期)では、手を挙げていただけの企業様の数も増加傾向となってきました。実施後には、「学生のアウトプットのレベルが高い」と高評価を得られております。

北九州地域の企業様のご理解のもと、課題選択はもとより研修の時期やスケジュール作りなど学生の都合に合わせる等、お陰様でこのような実績を残すことができました。これも北九州テクノサポート・コーディネーターの皆様が各企業と密に連携し受入れの準備を整えていただけた結果でございます。

今後も連携校のインターンシップ担当教員及び関係部門スタッフと共に課題の改善や協議を行い、エントリー方法やマッチングの負担軽減にも配慮しながら学生が研修を選びやすい、やる気がでる情報をふんだんに提供しつつ、ITツールに沿った方策を試行して次の進化を目指して行きたいと思っております。北九州地域だからこそできる、学校・企業との連携を活かした丁寧な研修そして柔軟な対応を強みとし産業人材の育成を模索してまいります。

是非ともNPO法人北九州テクノサポートの皆様方のお力を引き続きお貸しいただけますようお願い申し上げます。

2019年度事業報告

別表 2019年度の主な活動

NPO法人北九州テクノサポートのご関係先との連携の下、7つの支援グループ(Gr.)の個別又はGr.間の協働並びにEA21地域事務局活動を行った。

活動項目	関係先
北九州地域産業人材育成事業 (地域連携型インターンシップ支援活動)	北九州地域産業人材育成フォーラム、 (公財)北九州活性化協議会
販路開拓事業 西日本製造技術イノベーション2019 中小企業テクノフェアin九州2019	(公財) 北九州観光コンベンション協会
九州工業大学 産学連携アソシエイト派遣	九州工業大学 イノベーション推進機構
北九州商工会議所アドバイザー 活動の推進(ものづくり補助金申請 書作成指導支援等)	北九州商工会議所
製品開発・業務改善指導など	K社、S社
広報誌(夏号/冬号)の発行	県、市、FAIS、学術機関、 賛助会員、広告会員
「第4次産業革命」勉強会 1回開催	NPO-KTS、地元企業、 北九州市関係者他
「SDGs」勉強会 3回開催	NPO-KTS、地元企業、 北九州市関係者他
エコアクション21認証・登録事業の 推進	(一財) 持続性推進機構中央事務局
会員相互情報交換会	NPO-KTS会員、地元企業
新型コロナウイルス感染防止のため テレワーク推進	NPO-KTS会員、関係先

2019年度各支援グループ活動実績

[1] 技術経営ものづくり支援Gr.

1. 会員の技術力と希望の把握及びネットワーク力強化

3回の会員相互情報交換会を実施し、新入会員の紹介と既存会員との交流の場を作り相互連携基盤強化に努めた。

2. 他の事業活動との連携強化

当Grメンバーは他の活動にも参加しており、その活動の中で、本グループの活動に関係するテーマを取上げた。その成果は、3項に示すような事例である。

3. 企業支援の具体化

九工大派遣や他の支援グループとコラボでテーマを発掘し実施した。企業の個別ニーズに応じて、技術者紹介、各種補助金情報提供、技術文書作成支援、現場改善のアイデア提供等を行った。

◇既存制御システム機能向上への協力(技術者紹介)

◇現場改善についてのニーズ調査(今後、具体化予定)

◇物流の仕分け装置開発を支援する人材の情報提供

九工大への技術相談案件で企業側の人材不足を把握し、開発支援する技術者を紹介した。現在、開発は進行中。

◇切断くずの活用についてのアイデア出しに協力

パッキン切断屑の処分費を払っているが活用する方法がないかアイデア出しをサポート。

◇各種技術文書作成支援

経営革新等企業の書類作成指導

◇九工大産学連携活動を通じた企業ニーズ対応

九工大に技術相談が持ち込まれたが、大学よりも企業OBの技術等を使って取組むテーマがあり、技術検討の方向性などアドバイスを3社に実施。

◇人材確保のためニーズ紹介

3社から人材確保のニーズが寄せられ、KTSメンバーに対応を呼び掛け調査中

*新規発電所立上げのため従業員募集への協力要請

*企業OB人材で営業できる方の募集への協力要請

*工業高校の旋盤実習の講師紹介への協力要請

◇企業PR支援

“ものづくり大賞応募”を支援した。残念ながら受賞は出来なかったが、会社としてのPR効果が高まり感謝され賛助会員となっていただいた。

[2] 産学官連携人材育成支援Gr.

1. 北九州地域連携型インターンシップに関する事業

1) 研修型(短期)インターンシップに関する事業

研修型(短期)インターンシップは、夏休み期間の1~2週間を利用したものであるが、北九州地域にある理工系大学、北九州高専、産業医科大などの学生にインターンシップ

(次ページに続く)

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員・広告会員様の広報コーナー■

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
北九州テクノサポート通信Vol.35 広告1-2



大光炉材株式会社
REFRATORIES CO.,LTD.
大光炉材は、
ユーザーニーズへの迅速・確実な
レスポンスをモットーに、独自の技
術開発力を武器にダイナミックな展
開をしています。



大光炉材株式会社

本社:〒804-0054 北九州市戸畑区牧山新町1-1
TEL: 093-871-1631(代) FAX:093-883-2151
<https://www.taiko-ref.com/>

経営理念【社是】

私たちは、国家社会を支える重要な仕事
をもつことを誇りとし、きびしい自己反省と
たゆまぬ創造開発によって会社の発展と
人間幸福の実現に努力します。



MONOLITHIC REFRACTORY



FINE CERAMICS



株式会社 有菌製作所



当社は、“人生にやさしい”福祉・医療器具の総合メーカーです!

■当社は、障害児・者及び高齢者の必要とする義肢装具サービスの提供します。

代表取締役 有菌 央



〒805-8538 北九州市八幡東区東田1-7-5
TEL:(093) 661-1010/FAX:(093) 661-1670

<http://www.arizono.co.jp/>

Topics 3. 北九州観光コンベンション協会からKTSへの期待

公益財団法人 北九州観光コンベンション協会 事務局長 井上 美紀



井上事務局長

北九州テクノサポートの皆様には、当協会が主催する「中小企業テクノフェア」や「西日本製造技術イノベーション」におけるマッチング支援活動や、当協会も認証いただいておりますエコアクション21の地域事務局として、多岐にわたるご指導ご助言をいただいております。厚く御礼申し上げます。

1901年に八幡に官営製鉄所が国内で初めて立地したことで、近代産業発祥の地としての歩みが始まりました。戦後、日本の高度成長を支える中で、重化学工業を中心に急速な発展を遂げ、21世紀を迎える頃には付加価値の高い加工型産業へとシフトしていく長い歴史の中で、北九州独自のものづくりフィロソフィーが息づいております。

この北九州市が、SDGs(持続可能な開発)未来都市に認定されたことから、世界の課題である福祉やエネルギー、環境保全などの課題解決のために、内外の知識を産学官が一体となって取り組む持続可能な社会づくりに注目が集まっています。

昨今の製造現場においても、労働力不足や生産性の低さなどの課題の「見える化」と異業種の知識や異分野の技術を「つなげる」ことで、解決のための知識を創造するオープンイノベーションが注目されています。

当協会におきましても、北九州地域における先端技術の導入と地域産業振興を目的に各種展示会の開催に取り組んでいるところです。

北九州テクノサポート様の丁寧なヒアリングによって、出展社の「販路の足掛かりをつかみたい」や「さらなる販路を拡大したい」などのニーズが把握され、適切な地元ユーザーにつなげていくマッチング活動は、全国の展示会において類をみない取り組みとして、高く評価されています。

これからも皆様のご支援を得ながら、ものづくり都市北九州ならではのオープンイノベーションの創出に取り組んでまいります。むすびに、今後の北九州テクノサポートのますますのご繁栄と皆様方のご活躍を祈念申し上げます。

2019年度各支援グループ活動実績

を通じて地域のものづくり企業を良く理解し、地域企業への就職率を高める狙いがある。

2019年度は、地域のものづくり企業180社に対してKTSのコーディネーター12名が手分けして訪問した結果、86社から受入れ登録があった。

2) 実践型(長期)インターンシップに関する事業

実践型(長期)インターンシップは、将来の産業を担う人材育成のため、3ヶ月から半年の期間で行うもので、学生の教育効果が高く、企業にとっても手が付かなかった課題解決にもつながるものである。しかし、学校側の時間割等の制約から、対象は九工大と北九州高専の学生に限られている。

2019年度は、地域のものづくり企業180社に対してKTSのコーディネーター12名が手分けして訪問した結果、16社から受入れ登録があった。

3) 北九州高専長期インターンシップに関する事業

北九州高専は、本科4年生と専攻科2年生を対象として教育効果の高い2ヶ月から4ヶ月間の期間で行う長期インターンシップを実施しているが、KTSのコーディネーターは、受入先企業の紹介を行っている。

2019年度は、北九州高専からの希望に従って19社を紹介することが出来た。

2. 九工大産学連携部門へのアソシエイト派遣事業

九工大の要請により平成29年度から産学連携部門へKTS会員1名をアソシエイトとして派遣している。

3. サポイン事業評価業務

九州経済産業局のサポイン事業の中間評価と最終評価並びに事業化支援業務を平成25年度からKTS会員の個人契約ベースで行っており、平成30年度は5名の会員が従事した。

4. 「SDGs勉強会」の開催

住み続けられるまちづくりを目指し、北九州SDGsクラブへの参画と会員の自己研鑽の場として「SDGs勉強会」を開催し、北九州市の取組へKTSとして独自の提言や課題解決を図ることとした。

2019年度は、企業経営の視点からSDGsについて書かれた日経文庫の「SDGs入門」をテキストとして、10月から隔月で3回輪講会を開催した。



NPO-KTS SDGs活動目標	
ゴール 4	質の高い教育をみんなに
ゴール 7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに
ゴール 8	働きがいも経済成長も
ゴール 9	産業と技術革新の基礎をつくらう
ゴール 11	住み続けられるまちづくりを



第1回「SDGs勉強会/COM City」

[3] 環境・省エネ支援Gr.

1. 連携による環境・熱エネルギー助成事業

放置された竹林は、この問題解決策として幼竹から食メナを作る事を提案したが、採択に至らなかった。

未利用熱エネルギーの利活用は、情報収集に九州経済産業局、北九州市、FAISを訪問し、事の難しさを痛感・認識した。

2. 省エネ支援事業

事務所・作業場のLED照明を外部自然光とリンクした制御システムで省エネを図るシステムで中小企業導入支援を行ったが採用迄至らなかった。

[4] ISO-EA21 支援Gr.

1. 2019年度 第1回定例研修会…主な報告・討議事項

- EA21ガイドライン:2017年版での審査事例報告
- 市長感謝状の審査基準の検討
- EA21地域事務局再編に伴う【福岡】事務局としての対応
- 審査員資格取得を目指す新人の勉強会の実施状況

2. 2019年度 第2回定例研修会…主な報告・討議事項

- EA21地域事務局福岡の中核・登録申請の進捗状況
- KTSにおけるEA21事業のこれからの新展開について
- EA21地域事務局福岡及び山口(環境奇兵隊)の各審査人が存続必要性と中核・登録についてどのように考えているか
- KTSの他グループとの連携による企業支援について

3. 2019年度 第3回定例研修会…主な報告・討議事項

- EA21地域事務局福岡の中核・登録申請の進捗状況
- …中核事務局となること決定した
- EA21事業推進強化策:KTSにおけるEA21事業のこれからの施策とEA21事業の展開について
- 3月4日予定の産業廃棄物処理業者説明会は中止する。

4. 「EA21だより(KTS通信瓦版)」の発行

2019年度はVol.14号を発行した。

[5] IT活用支援Gr.

1. NPO-KTSのホームページ全面改版と維持管理体制確立

NPO-KTSのホームページは、2003年の発足当時に会員がIBMホームページビルダーを活用して製作したもので、その後の度重なる改版によりトップページが非常に煩雑になっただけでなく、定期的な改版も出来難くなり、その役割を果たさなくなった。KTS会員の中からホームページ制作の専門家の方に加わってもらい全面改版チームを立ち上げて約半年の期間でこの問題解決を図った。同時に広報・デザイン支援Gr.の協力を得てホームページの維持管理体制を確立した。

(次ページに続く)

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員・広告会員様の広報コーナー■

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
北九州テクノサポート通信Vol.35 広告3-4



エコアクション21
認証登録番号
0008225



限りある資源を未来に 地球環境に貢献

株式会社コーセイジャパン

当社は照明の省エネ診断を行い、エネルギー削減や照度改善をご提案しております。

従来照明は水俣条約や省エネ法により製造終了が続いております。

現場調査、ご提案から施工、保守まで一貫して行っておりますので、ご相談お待ちしております。

〒800-0315 福岡県京都市都賀町1-11
TEL:093-436-6136 FAX:093-436-6141

<http://www.kosei-japan.com>

水銀使用製品の製造終了!
(2020年12月より)



高効率LED照明



すなわち謙虚に無限の未来をひらいていこう

株式会社 豊洋製作所



水栓金具部品



医療機器部品

水栓金具部品及び医療機器部品の開発・製造にISO品質マネジメントシステムを適用した仕組みを実践

◆代表者: 取締役社長 小河原 信
◆本社・工場: 福岡県京都市都賀町鳥越町1-44
TEL 093-436-5200
FAX 093-436-5207
URL <https://www.hoyo-s.co.jp>

Topics 4. 西日本工業大学からKTSへの期待

西日本工業大学 学長 片山 憲一



片山学長

日本の中でも歴史が古い北九州地域の基幹産業は、グローバル化の進展や国内マーケットの成熟とともに順次競争力が低下し、自動車産業や環境産業など新分野への進出や高付加価値化の取り組みにもかかわらず、工場や事業所の縮小・閉鎖が続くなど大きな影響を受けてきました。

このような北九州にあって、北九州テクノサポートの皆さんの技術と経験に基づいた活動は地域ニーズの空白を埋める頼もしい存在と感じています。

昨今は、5Gなどの通信技術の革新でAIやIoTの時代が身近になるとともに、地球環境への配慮や格差問題等、SDGsへの対応が企業の最優先課題になっています。一方、消費者行動も所有することから利用するに変わり、消費判断がスペックの高さから受け取るサービスの質へと大きく変化しています。

このような時代にあっても社会を支えるインフラやサービスを支えるハードをきちんと維持、保全する重要性は変わりません。労働力が減少し技術継承が困難な時代を迎えていますが、視点を変えれば設備保全などで培ってきた北九州の技術力を活かせるチャンスが到来したとも言えます。

皆さんが持つノウハウに汎用性を持たせることが出来れば新たなマーケットが見えてきます。例えば、セコムのような警備保障会社をイメージするとわかりやすいと思いますが、事業所などの現場をリモートで監視して技術的トラブルを早期に発見しスピーディーに技術者を派遣する設備保障会社づくり等があります。皆さんの専門分野とIT技術とを結びつけ、IoTで収集すべき情報や集めたデータから異常を検知するノウハウをAI化してビジネスにするのです。

人生100年時代、企業での豊富な経験を持つ北九州テクノサポートの皆さんの知恵と現場力を結集できれば北九州発の新たな産業が生まれると信じています。

2019年度各支援グループ活動実績

(前ページより続く)

2. 中小企業のIT活用支援

2018年度にKTSの会計システムを統合化することによって入力に要する時間を大幅に削減したが、中小企業の生産管理システムも統合化することによって、人手不足解消に繋がる効果が得られるので、その視点から支援を計画した。1社から相談があったが、システム変更に対して社内の調整に時間を要している状態である。

3. 「第4次産業革命」勉強会の開催

第4次産業革命は、IoT・AI・ロボット・サイバーフィジカルシステム(CPS)などの新しい技術による変革である。この動向を勉強して中小企業支援に活かすことが重要と考えて2016年1月に自己研鑽の場として「第4次産業革命」勉強会を立ち上げてきた。2019年度は、2016年度に取り上げたテーマ「IoTシステムに最適な通信技術の選択」を超高速度・超低遅延・多数同時接続の5Gの登場を迎えて新しい通信技術を中心に取り上げた。

4. 新型コロナウイルス対応のためテレワーク導入

2月下旬、新型コロナウイルスの拡散防止のため国や北九州市の要請を受け、3月に開催予定の理事会やインターンシップコーディネーター会議についてテレワークのため電子メールとSkypeによるビデオ会議の導入を図り実施した。また、KTS会員向けに「Skype導入テキスト」を作成した。

[6] 販路開拓ビジネス支援Gr.

1. 西日本製造技術イノベーション2019展示会

大中小企業対象ビジネスマッチング(BM)支援事業

今回の支援は2年目で、展示会は6月に開催された。BM支援は、出展企業サイズと地域企業のニーズとのマッチングを図り、出展企業と地域企業の来場拡大により企業と地域発展に貢献する事業である。KTSコーディネーター16名により出展企業52社

(昨年比1.5倍、九州山口以外81%)とのBM支援を行った。訪問企業161社、地元来場企業92社、面談・商談・見積・成約の合計は329件の成果を得た。苅田・行橋・下関商工会議所等との協働も期した。

2. 中小企業テクノフェア九州2019展示会 中小企業対象のビジネスマッチング(BM)支援事業

今回の支援は11年目で、展示会は10月に開催された。コーディネーター17名、出展企業48社(九州山口以外40%)、訪問企業216社、地元来場企業123社・面談・商談・見積・成約の合計は508件の成果を得た。



イノベーション2019 BM支援風

3. 北九州商工会議所アドバイザー制度等による支援事業

2014年度から北九州商工会議所の要請によりものづくり企業へのアドバイザー制度を開始した。約40名のKTS会員を登録し、商工会議所の会員企業の特許・申請・技術的対応・メーカの紹介等の支援をする制度である。苅田・行橋・下関商工会議所等との様々な協働を推進する。

[7] 広報・デザイン支援Gr.

1. KTS通信(夏号・冬号)の発行

2. KTSホームページの更新

(IT活用支援Gr.との協働)

3. KTS賛助会員・広告会員の広報支援

4. 継続的な広報活動の展開



冬号表紙

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員・広告会員様の広報コーナー■

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
北九州テクノサポート通信Vol.35 広告5-8

環境づくりに心をこめて

株式会社 守恒造園建設

◆地域密着の循環システムの推進
◆社会貢献

事業品目
造園工事・環境事業・きのこファーム

(本社) 北九州市小倉南区志井鷹羽台4番3号
TEL 093-962-4211 FAX 093-962-4272 URL <http://www.morizou.info/>

株式会社リョーワ

福岡県京都郡苅田町鳥越町10-5
<http://www.e-ryowa.com/>

TEL / 093-436-0113

ベテラン目視検査員の暗黙知を認識に!

僅か30枚の良品画像で機械学習できる
画期的なAI外観検査システム

新製品

多言語翻訳放送装置 QuaVoice

クアボイス

手軽にその場で翻訳!すぐ放送!

◆4か国語でその場の状況を即時に伝えられます。
◆訪日外国人へ安全・安心サービスを提供!

<http://kanno.co.jp>

株式会社 **カンノ製作所** [本社] 〒802-0022 北九州市小倉北区上瀬野1-5-25
TEL (093)521-9531 FAX (093)511-6470 JR (091)3111

創業90年

千草ホテル

Chigusa Hotel

北九州市八幡東区西本町1-1-1
TEL 093-671-1131
<http://www.chigusa.co.jp>

Since 1914
次の100年へ

- 1. エコアクション21 (EA21) 導入セミナー開催**
北九州市自治体イニシアティブ・プログラムの前段階として、エコアクション21の概要と取得事例を説明した。
- 2. 自治体イニシアティブ・プログラム開催**
認証・登録取得希望事業者を対象に担当審査員が集合指導した。
- 3. 認証・登録業務推進**
登録審査(新規、中間、更新)、地域判定委員会開催、地域運営委員会を開催した。
- 4. 認証・登録事業者向けフォローアップセミナー開催**
認証・登録事業者に対して情報提供、相互意見交換、相談会を開催した。



フォローアップセミナー

- 5. 産業廃棄物処理業者向けガイドライン2017年改定版説明会開催**
産業廃棄物処理業者の認証・登録事業者を対象にその改定の趣旨及び内容について説明会を開催した。(山口県セミナーパークにて)
- 6. 10年継続認証・登録事業者に感謝状授与**
10年間エコアクション21に取組んできた16事業に対して中央事務局からの感謝状を授与した。
- 7. 北九州市長感謝状授与対象事業者の選考・上申**
北九州市内の認証・登録事業者から環境経営の取組が優れている事業者を市長感謝状授与候補として選考の上、市へ上申。3社が感謝状を授与された。



10年継続取組事業者
感謝状授与式

2020年度(2020.4.1~2021.3.31)事業計画

■ 組織及び運営方針

1. 組織

活動組織は前年度に引続き7支援グループ及びEA21地域事務局の体制とするが、EA21地域事務局再編の効果をより高め、KTS内の結束を強化し、ウィルス禍で日々変動する社会情勢に併せて事業内容の見直し、グループ再編を含めた活性化を今以上に進める。

三役	会長	吉田 剛	
	事務局長	小林 敏郎	
	副会長	1	影山 隆雄
支援 グループ (Gr.)	技術経営ものづくり支援Gr.長	吉田 剛	
	産学連携人材育成支援Gr.長	影山 隆雄	
	環境・省エネ支援Gr.長	石井 剛	
	ISO・EA21支援Gr.長	松隈 斉	
	IT活用支援Gr.長	影山 隆雄	
	販路開拓ビジネス支援Gr.長	藤原 利久	
	広報・デザイン支援Gr.長	林慶三郎	
エコアクション21地域事務局環境未来責任者		西 哲郎	
2020年度役員任期開始日(2020年7月1日)に7月度理事会を開催し、会長以下三役並びに各支援Gr.長が選出された。			

2. 運営方針

本年度は既存受託事業(ビジネスマッチング・人材育成フォーラム・EA21事業等)の新事態への適応力を関係機関と連携して確立する。次に企業の置かれる困難な状況に国・県・市の施策と連携して地域企業へ応援に力を入れ、産業の持続・維持を助け、新たな技術開発やマーケット開拓に立ち上がる企業の応援を進める。

本事業を支える人材の入会の促進及び情報共有促進のため、インターネット会議を大いに活用した相互連絡会を開催し会員の力を結集する場や、ホームページ・広報誌の内容充実で情報を積極的に発信し、喫緊の社会ニーズに対応した体制を作り推進する。

■ 実施計画

1. 技術経営ものづくり支援 Gr.

(1) 技術支援

よろず相談票の制度をつくり、地場企業のニーズを広く集め、技術者や企業で対応できるところを探しマッチングを進め課題解決に協力する。

(2) 人材確保のための支援

企業等から寄せられる人材の確保について、KTS人材の活用やKTS会員のO事務所と協力した外国人材の確保等の支援を進める。

(3) 企業PR・補助金等活用した技術力向上への支援

地場中小企業の有する商品・技術についてのPR活動、公的機関からの中小企業への支援策を用いた地場企業の技術力向上を進める。

(4) 官公庁からの委託事業の開拓

他の活動グループと協力し、官公庁の調査等の事業に対応する体制を作り対応する。

2. 産学官連携人材育成支援 Gr.

(1) 地域連携型インターンシップに関する事業

1) 研修型(短期)インターンシップ

研修型(短期)インターンシップは、夏休み期間の1~2週間を利用したものであるが、北九州地域にある理工系大学、北九州高専、産業医科大などの学生にインターンシップを通じて地域のものづくり企業を良く理解し、地域企業への就職率を高める狙いがある。

2020年度は地域のものづくり企業200社に対してKTSのコーディネーター13名が手分けして訪問し、受入れ登録企業120社を目指す。

2) 実践型(長期)インターンシップ

実践型(長期)インターンシップは、将来の産業を担う人材の育成のため、3ヶ月から半年の期間で行うもので、学生の教育効果が高く、企業にとっても手が付かなかった課題解決につながる効果がある。

2020年度は、地域のものづくり企業200社に対してKTSのコーディネーター13名が手分けして訪問し受入れ登録企業30社を目指す。

3) 北九州高専長期インターンシップに関する事業

北九州高専は、本科4年生と専攻科2年生を対象として教育効果の高い2ヶ月から4か月間の期間で行う長期インターンシップを実施しているが、KTSのコーディネーターは、受入先企業の紹介を行っている。2012年度は、北九州高専からの希望に従って20社紹介を計画である。

(2) 九工大産学連携部門へのアソシエイト派遣事業

九工大の要請により平成28年度から産学連携部門へKTS会員1名をアソシエイトとして派遣しているが、2020年度も継続する計画である。

(3) サポイン事業評価業務

九州経済産業局のサポイン事業の中間評価と最終評価並びに事業化支援業務を2013年からKTS会員の個人契約ベースで行っており、2020年度は5名の会員が従事する計画である。

(4) 「SDGs勉強会」の開催

住み続けられるまちづくりを目指し、北九州SDGsクラブへの参画と会員の自己研鑽の場として「SDGs勉強会」を開催し、北九州市の取組へKTSとして独自の提言や課題解決を図る。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■ 賛助会員・広告会員様の広報コーナー ■

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
北九州テクノサポート通信Vol.35 広告9-10

**ベストプランを
ご提案します!**



三栄機工株式会社
福岡県知事許可(般-21)第99106

<http://www.sanei-kikou.com/>

選別機械 / コンテナ製作
搬送設備 / リサイクル設備
コンベアカー

設計・施工・修理・メンテ



一般小荷物搬送設備

福岡県京都郡苅田町若久町3-22-5 TEL 093-434-2737

公益財団法人 北九州活性化協議会
TEL: 093-541-3122 FAX: 093-541-0636
<https://www.kpec.or.jp/jinjal/>

KPECの主な活動

もったいない総研

真にゆとりのある21世紀のライフスタイルを求める研究所「もったいない総研」へようこそ!

産業人材育成

北九州地域の中堅・中核企業と地元理系大学生をつなげる地域ぐるみの産業人材育成

小学校応援団

子どもの教育を企業も一緒にサポートし、積極的に支援します

1,000人の夢奇金

北九州をもっと楽しく、このまちの未来をどうにか未来を一緒にどうにかする?

北九州インベーションキャリヤー

技術とデザインを融合させ、数々のイノベーションを生み出した北九州の先人達の知の遺産

まちづくり推進事業

市民・団体・大学・行政機関等の連携種として北九州の街づくりのための環境づくりを行っています

1. 認証・登録業務実施

審査申請を受け、審査員選任、審査計画の確認、審査結果の判定委員会による審議判定、中央事務局に対し審査判定結果報告、中央事務局からのコメント対応、事業者からのコメント対応を実施する。

2. 導入セミナー開催

環境経営について説明し、EA21認証取得への取り組み及び取得事業者の事例発表を実施する。

3. 自治体イニシアティブ・プログラム開催

EA21認証取得の意思を持つ事業者に対し、EA21認証への取り組み方を説明し、認証取得審査申請まで指導する実践講座を開催する。【自治体(市町村)の呼びかけ】

4. 関係企業グリーン化プログラム開催

EA21認証取得の意思を持つ事業者に対し、EA21認証への取り組み方を説明し、認証取得審査申請まで指導する実践講座を開催する。【中核となる企業・団体の呼びかけ】

5. 認証登録事業者フォローアップセミナー開催

EA21認証取得事業者に対し取組の意識・レベルの一層の向上をはかるため、環境経営の動向、取組事例、相互意見交換などを実施する。

6. 審査員力量向上研修会の開催

九州・山口・沖縄地域のEA21審査員に対し審査レベルの一層の向上をはかるため、環境経営の動向、事例研究、相互意見交換などを実施する。

7. 10年継続取組事業者に感謝状授与

10年間エコアクション21に取り組んできた事業者に対して中央事務局からの感謝状を授与する。

8. 北九州市長感謝状対象候補の選考上申

北九州市内の認証取得事業者から、環境経営の取組が優れている事業者を選考の上、市長感謝状授与候補として市へ上申する。

2020年度事業活動開始状況(Hot News !!)

北九州地域産業人材育成フォーラムとの協働

☆ 2020年度地域連携型インターンシップ(ISP)登録企業開拓活動

北九州地域産業人材育成フォーラムの地域連携型ISPは、2011年度にスタートして10年目になるが、地域の理工系大学や工業高等専門学校の学生の社会人基礎力向上や地元企業就職率向上の役割を果たしている。今年度は、コロナ禍を踏まえて政府と経団連が、就職活動柔軟化を企業に呼びかけ、大学院生についてISPからの直接採用も解禁する方向で調整をするなどISPの重要性が高まっている。KTSは、コーディネーター12名で受入登録企業の開拓をおこなっているが、コロナ禍の影響で登録企業数が昨年度の75%に留まっている。

(公財)北九州観光コンベンション協会との協働

☆ビジネスマッチング(BM)

◆「西日本製造技術イノベーション2020」(6月開催→中止)

本事業は高度な開発製品の多い大企業・中堅企業が主体の展示会BMとしてコーディネーター17名での対応を予定していたが、新型コロナ対応で中止となり、出展企業開拓等の残務を終え、来季開催へのノウハウの蓄積を行った。

◆「中小企業テクノフェアin九州2020」(10/28-10/30開催予定)

本事業は今年で12年を迎え、会員からの新コーディネーター応募を期待するとともに、大学や商工会議所等との協働や運営面の改革も進めて行きたい。但し、新型コロナ問題への対応のため、7月初旬時点では開催は確定していない。

■KTS会員情報交流会(推進チーム世話役:吉田理事)

2018年2月に会員の自由な情報交換の場として発足以来、KTS活動状況把握や自己PR、又、ビジネス開拓の場として開催を重ねており、今期も新入会員はもとより、ご関係企業も交えて各位の技術・専門性を生かした積極的参加、事業化提案等を期待したい。ウィズコロナそして来るべきアフターコロナも見据えた新活動形態を含め活発な活動を行う。膝を交えた飲みコミュニケーション文化復活も期待！(次回開催予定:KTS-HP又はeメールで連絡)

■「SDGs勉強会」と「第4次産業革命勉強会」(勉強会世話役:影山理事)

KTS会員と協賛いただく関係先の方々のご自己研鑽の場として、2016年1月から「第4次産業革命勉強会」を隔月で始め、2019年10月から「SDGs勉強会」を加えている。この勉強会もコロナ禍の影響を受け開催を中断したが、6月25日にSkypeによる「SDGsオンライン勉強会」として再開し、今回のコロナ禍を歴史の転換点として捉え新しい社会システムの中におけるSDGsと中小企業SDGs経営について学んだ。(次回開催予定:KTS-HP又はeメールで連絡)

新任理事紹介



さかた かずのり
坂田 一則

地場の企業を定年退職後、平成30年度に入会いたしました。インターンシップ、ビジネスマッチング支援等を通じて会員の皆様や地域中小企業のお役に立てるように「一味同心」の心構えで努めて参ります。



とくなが まさひろ
徳永 昌哉

北九州市役所OBです。中小企業振興課勤務が長く、中央卸売市場を最後に退職しました。感染症対策で大変な時ですが、地域中小企業の皆さんの経営改善に少しでもお役に立てれば幸いです。

役員選考委員長(藤原理事)より一言:

今期は2名の新理事が就任されました。理事候補は正会員の中から、KTS定款を踏まえた役員選任規定に則り選考され、総会承認を経た上で理事として御活躍頂きます。任期は1年(再任も可)ですので、やる気・責任感のある若手会員の皆様の自薦や他薦を期待しています。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員・広告会員様の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPRー募集中>
北九州テクノサポート通信Vol.35告15-18

ガラスレンズ金型(超合金製)



次世代移动通信技術「5G」に使用されるレンズを製造するには弊社の「超精密加工技術」が必要です。1/1000mm以下

夢のあるものづくり
株式会社ワークス
〒811-4321 福岡県遠賀郡遠賀町虫生津 1445-1
TEL: 093-291-1778 FAX: 093-291-2728

特徴1
安全・迅速

特徴2
3D同時計測

特徴3
高精度

特徴4
直感的!!

計測検査株式会社
北九州市八幡西区陣原 1-8-3
TEL: 093-642-8231

建造物に美を添える”研磨”という芸術

東洋ステンレス研磨工業株式会社
TOYO STAINLESS POLISH INDUSTRY CO., LTD

展示会に出る。新しいビジネスに出会う。
西日本総合展示場・新館

西日本製造技術イノベーション | 中小企業テクノフェアin九州

西日本製造技術 検索 | 中小企業テクノ 検索

株式会社 ワークス

微細加工の先端技術を持つ同社を訪問し、三重野社長並びに経営企画室高下室長に同社の現状と今後の取組み等についてお話を伺いました。(石川監事)

■会社の沿革と業況

当社は平成3年、三重野計滋社長が研削関連の機械・工具の取扱商社として創業したのが始まりで、平成9年に製造業へ参入し超精密金型部品の製作を開始。以来「超精密」「高付加価値」な「ものづくり」を基幹として、地元研究機関と連携し高耐久性特殊加工工具を開発。その高い技術力が顧客満足度につながり、携帯電話のカメラレンズの金型や、ハイブリットカーのモーター部品の金型など国内外の大手メーカーから受注しております。社員平均年齢33歳で若い社員が多く、超精密加工技術を経営の柱としている企業です。

当社は国内外の医療機器並びに自動化機器メーカーから熱い視線を受けており、医療機器関連では、痛みを感じさせない注射針「マイクロニードルアレイ」並びにカプセル内視鏡です。自動化機器関連では自動運転関連機器、高速通信関連では第5世代高速通信分野で必要不可欠な部品製作技術を保有しております。



閑静な環境の本社社屋

■今後の展開と課題

当社では、これまで培った微細加工技術を柱にして、世の中が求めるものに直結する技術・商品を開発していく。一つ目は医療分野であり、二つ目は自動運転や高速通信分野であり、それぞれの分野で精密加工技術を活かせることが分かったので、医工連携並びに自動化・高速通信分野をキーにして大学の先生方の研究内容と連携して、新しい製品の商品化・実用化に繋げていく。そのための一環として「微細加工工業会」が2018年11月に活動開始し当社もその一員となって活動を展開しております。(日本経済新聞)



マイクロニードルアレイ



カプセル内視鏡



非球面レンズ金型



5G

■KTSへの期待

中小零細企業には「スピード感を持った変化」が求められていますが、我々のような小規模企業は、限られた経営資源しかありません。そこで、KTS様には、ビジネスモデルの構築、人材教育、技術開発等々、我々だけでは、不足している部分を強力にサポートを頂きますよう幅広いご支援をお願い致します。

◇会社概要

■所在地:(本社・工場)福岡県遠賀郡遠賀町大字虫生津1445-1 TEL:093-291-1778
 (神戸サテライト)神戸市中央区 (R&Dセンターひびきの)北九州市若松区
 ■代表者:代表取締役 三重野 計滋 ■設立:1991年4月
 ■資本金:1,500万円 ■従業員数:57名(パート含む)
 ■事業:精密微細部品の製造
 URL: <http://wks-co.com>

株式会社 豊洋製作所

NPO-KTS賛助会員の同社を訪問し、小河原社長並びに城戸スーパーアドバイザーに同社の現状と今後の取組み等についてお話を伺いました。(江副理事)

■会社の沿革と業況

当社は1953年に先代社長小河原正澄が創業し、衛生器具部品の水栓金具一筋に製造してきました。1959年から中小企業設備近代化計画を実施し、今日までNC自動旋盤を主力として、マザック、アーム式ロボットなど事業に応じた設備投資を行ってきました。また従来の黄銅棒はもとよりアルミ、チタンや合成樹脂材による、幅位広い分野の切削加工に取り組んでいます。特にチタン材については2010年より医療機器製造業の認可を受け、骨接合材など超精密加工も行っております。

また品質に関しては2012年にISO9001-2015(水栓金具および医療機器部品)を取得し、お客様ニーズへの信頼・安定による品質確保及び従業員の能力向上と技術力継承における人材育成に邁進している状況です。

■今後の展開と課題

- 1.北九州空港、東九州自動車道に隣接する好立地にあり、これを活かした今後の事業展開を助めていきたい。
- 2.生産効率を向上させるために、人間と設備・装置や計測機器をつなげるためにロボット、IoTやAIなどを導入し、ヒューマン・マシン・インターフェイス(HMI)を進めたい。
- 3.チタン材をはじめとした医療機器部品などの超精密加工を受注したい。
- 4.多様な情報収集・活用及び専門知識・技能を有した人材育成が急務です。
- 5.ISO9001のマネジメントシステムを従業員全体に浸透させ、経営の効率化を図りたい。



空港連絡道路より本社社屋を臨む



工場内部風景事例



製造設備事例

■KTSへの期待

KTSとはインターンシップ制度を通してご指導・支援を受けております。今後は顧客の新規開拓や新技術の紹介など、弊社に有用な情報や活用策について、ご支援をお願いしたい。

◇会社概要

■所在地:福岡県京都郡苅田町鳥越町1番44 TEL:093-436-5200
 ■代表者:代表取締役社長 小河原 悟 ■設立:1958年4月
 ■資本金:1,000万円 ■従業員数:72名
 ■事業:水栓金具部品及び医療機器部品の製造
 URL: <http://www.hoyo-s.co.jp>

正会員・賛助会員の募集(当法人は、会員の会費で運営されております)

- ◇企業の第一線をリタイアされた皆様、お持ちの知識・技術・経験・人脈を生かして第二の人生を地域社会への伝承、更なる発展のために貢献・恩返ししてみませんか?
- ◇福岡、山口の企業様、当NPO法人との協働で経営・技術の課題解決など、よりよい成果を目指してみませんか?もちろん、会員加入は必須ではありません。(^^)

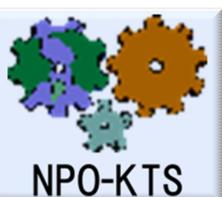
正会員・賛助会員の会費

- ・正会員 入会金:5,000円/年会費:5,000円
- ・賛助会員(法人) 入会金:10,000円
 年会費:20,000円/1口
- (個人) 入会金:5,000円
 年会費:5,000円/1口

編集後記



夏号(Vol.35)は定期総会特集号です。巻頭写真は合併NPOの4月新発足を記念して関門橋(会員井ノ口章二様提供)としました。冊子発行は2,000部ですが今回号を含めバックナンバーは全てホームページに掲載していますので併せてご覧下さい。産学官民のご関係の皆様方、会員の皆様方に喜んで頂ける広報誌を目指して、会員の皆様のご協力を頂きながら、今後共、新NPO法人の広報媒体として、更なる誌面の充実化を図って参りますので、今後共、お引き立てのほど、よろしくお願ひ申し上げます。(編集部)



北九州テクノサポート 検索

<http://www.npo-kts.org/>

会員申し込みは随時受け付けています

ホームページから申込用紙をダウンロードできます

NPO法人 北九州テクノサポート
 広報誌「北九州テクノサポート通信Vol.35」

2020年7月10日 発行

編集・発行:NPO法人北九州テクノサポート(広報・デザイン支援Gr.)
 北九州市戸畑区中原新町2番1号 北九州テクノセンタービル 806号室
 TEL/FAX:093-873-1453 E-mail: info@npo-kts.org